

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

おいらせ 5

Public Relations
May
2011
No.75

小学生になったよ

下田小学校（西坂宏校長、児童118人）の入学式は4月7日に開かれ、新たに14人の新1年生を迎えた。「よろしくお願ひします」と元気に自己紹介した鳥越萌依ちゃん（6つ、新敷）

Special
Edition

エコを支える
Oiraes Four- Support For Ecology
町のサポート

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

目次

02 Oirase First Page

03 CONTENTS

04 **エコを支える町のサポート**
Special Edition
Oirase Four-Support For Ecology

14 **Oirase Topics**
□おいらせブランド認定審査会
□町内小中学校卒業証書授与式
□町内小中学校入学式
□交通安全街頭指導 ほか

16 **Special Topics**
□町内小学校の交通安全教室
□古墳館・民具ふれあい館オープン

18 Special Information

20 おいらせアーカイブス

22 **Monthly Oirase Information**
◎お知らせ記事
□各種相談窓口を開設
□介護保険事業計画策定調査
□任意予防接種の費用を助成
□子育て支援センター
□発掘作業員を募集
□5月の納税相談日 ほか

25 国民年金

26 おいらせ健康カレンダー

27 戸籍の窓

28 **ZoomUp**
佐々木英恵さん（青葉）

🌀* Oirase Town Information *🌀

おいらせ自慢の風景「おいらせ町景観百選」 File_02



自由の女神像

いちよう公園にそびえる自由の女神像は、おいらせのシンボル。本体の高さは約11.5m——ニューヨーク（米国）の自由の女神像の4分の1のサイズだ。夜はライトアップされ、幻想的な姿を見せてくれる。

おいらせが全国に誇るブランド
Oirase's Brand

スイーツベジタルト



おいらせ産のカボチャ、ナガイモ、エゴマなどを使ったおいしいタルト。コーヒーやお茶と一緒に味わってみてはいかが。

☎ケーキのヒマラヤ ☎0178-56-3956

町章

Oirase's Symbol



町名そのものをデザイン化した町のシンボル。▶緑色は豊かな自然環境と田園定住都市▶青色は奥入瀬川と太平洋▶赤色は住民の活力——を表す。

町のイメージキャラクター

Oirase's Image Character



名前は「おいらくん」。丸みのある顔はOIRASEの頭文字「O」と町民の和、胴体は命の源である水のしずくを表現し、キャラクター化した。

まちの人口と世帯（4月1日現在）

	人口	前月比
男性	12,194	↓ 23
女性	12,906	↓ 23
合計	25,077	↓ 67
	世帯数	前月比
世帯	9,388	↓ 40



町の花木鳥

Oirase's Flower & Tree & Bard



サクラ

Cherry Blossoms



イチヨウ

Maidenhair Tree



ハクチョウ

Swan

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれる町」の情報誌・広報おいらせ5月号の印刷経費は1冊あたり約50円です。

— From Oirase To United States —



日本人の誇り抱き 遠く米国へ旅立つ

東部上北教育研究協議会（成田隆会長）は4月21日から9日間にわたり、本町、六戸町の中学生12人を米国（メイン州キタリー）へ派遣する。「二回りも二回りも成長し、元気に戻ってくる」——彼らは力強く決意を語った。



1 写真上から時計回りに寺澤花恋さん、西條佑紀子さん、柏崎百合香さん、小笠原亜美さん、寺澤就さん、三村胡桃さん、藤沢いつみさん、日ヶ久保洗さん。これまで何度も研修を重ね、強いきずなを築き上げてきた「かけがえのない仲間たち」だ

— Spring A Bride Of Harmony —



2 米国ではさまざまな日本文化を紹介する。柔道の組み手を披露する日ヶ久保さん（写真左）

3 渡米前、ホームステイ先から震災を案じる手紙が寄せられた。仲間たちの前でメッセージを読み上げる寺澤さん（写真左）

キタリーは米国メイン州ヨーク郡の南部にある、人口約1万人の町だ。農林漁業が盛んに行われている。海軍造船所などもあり、活気のある町だ。東部上北教育研究協議会は、1993（平成5）年から管内の中学生をキタリーへ派遣している。すでに延べ180人の中学生を送り出した。今回派遣されるのは12人。本町からは▼小笠原亜美さん（百石中2年）▼日ヶ久保洗さん（同3年）▼藤沢いつみさん（同3年）



3年）▼三村胡桃さん（同3年）▼柏崎百合香さん（下田中2年）▼西條佑紀子さん（同2年）▼寺澤花恋さん（同2年）▼寺澤就さん（木ノ下中2年）——の8人が派遣される。壮行式は4月11日に開かれた。中学生らは「震災で大変な時期、米国へ行かせてもらえることに感謝している。このおいらせ、日本を代表するつもりで学びたい。必ず二回りも二回りも成長し戻ってくる」と固く誓った。

エコを支える 町のサポート

Special
Edition

Oirase Four- Support For Ecology

私たちの生活はとても便利になった。でもそのかわりに、今地球が泣いている。この国のエネルギーが足りず困っている。できることから「エコ」を始めてみよう。小さなことでも、一つ一つ積み重ねれば、大きな力になり、未来の幸せにつながる。

なぜ「エコ」を進める必要があるのか

私たちが住む「地球」は、周りを薄く覆った大気のおかげで、多様な生物を育むことができた。46億年と言われる歴史の中で、わずか200万年前の間に、人類は文明社会を築き、今を暮らしている。

しかし18世紀の産業革命などの転換期を経て、人類は「大量生産」「大量消費」の社会をつくりはじめた。石炭、石油など化石燃料を使い、二酸化炭素などを大量に大気中へ放出した。これらが原因になり、1980年代以降、▼温暖化▼オゾン層の破壊▼酸性雨——など、さまざまな環境問題が起った。最近の研究によると、北極圏の平均気温は、30年前と比べ6℃以上も上がったという。これによって起る海面上昇は、多くの島々を水没させる恐れがある。

地球環境に与える負担をできるだけ減らすことが、今の時代を生きる私たちに求められている。使えるものはできるだけ長持ちさせたりリサイクルしたりする「循環型社会」をつくりだすことが必要だ。一人一人の「エコ」への関

心、実践の積み重ねは、循環型社会をつくりだす上で大切なキーワードになる。私たちの小さな一歩が、必ずやかけがえない地球を守ることにつながるはずだ。

東日本大震災を経験し 実感した資源の大切さ

2011年3月11日、14時46分頃、宮城県牡鹿半島沖で発生した東日本大震災（以下「震災」）——国内観測最大、M9.0の激震は、本町にも震度5強の揺れをもたらした。地震発生後、大津波が太平洋沿岸を容赦なく襲った。死者、行方不明者は約2万8千人（4月上旬現在）。今も被害全容は把握できていない。日本人が今まで遭遇したことのない、未曾有の大災害だった。

大地震、大津波は家や道路、線路など、インフラに壊滅的な被害をもたらした。震災直後、本町も2日間にわたり停電し、日常生活に大きな支障をきたした。多くの発電所は電力供給に支障が出たため、東京電力は区分けされた地域の電力供給を一時的に止める「計画停電」を実施しなければ

ならなかった。

避難所では発電機の音が鳴り響いた。電気が使えるコンセントには、携帯電話の充電器をさす姿が多く見られた。今や日常生活に不可欠な「文明機器・ケータイ」は、電気がなければ無力だった。

物流が滞ったために起こった石油製品の不足も深刻だった。特にガソリン不足は人々を悩ませた。どこのガソリンスタンドに行ってもガソリンはない。ようやく供給されても「5時間以上待った」「1回で10リットルしか詰められなかった」という声もあった。車を走らせることができないうため、被災地の復興活動に大きな支障が出た。ごみ回収車は燃料を確保できないため、2週間ほど回収回数を減らさなければならなかった。生ごみなどの「燃えるごみ」は週1回の回収になった。▼空き缶▼ペットボト

ル——などの「資源ごみ」は、回収を当面見合わせたため、小屋などにストックしておかなければならなかった。

震災後1カ月以上経った今でも、震度5、6に達する大きな余震は頻りに続いている。震源地は岩手から茨城まで、極めて広い範囲だ。いつあのような大地震、大津波が起こっても不思議はない。

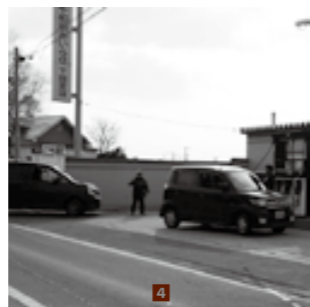
いざというときのため、限りある資源を大切に使用しなければならぬ。「想定外」ではなく、可能な限り「想定」して、できることから少しでも準備しておかなければならぬ。震災を経験したからこそ、資源の大切さ、エコの必要性は、今や誰もが身に染みて感じていることではないだろうか。

エコを支えるため、町はいくつかの事業を展開している。一人一人のエコの積み重ねを、町は力強く応援する。



1 本町を襲った大津波は、沿岸部に甚大な被害を与えた（デーリー東北新聞社提供）
2 地震発生後、間もなく停電になった。避難所の電力は発電機でまかされた（深沢地区避難所で撮影）

- 3 安否確認などで活躍するはずだった携帯電話だが、電波規制や充電不足などで支障が出た
- 4 震災後のガソリン不足は深刻だった。ガソリンスタンドには車が並び、ごみ回収車は燃料不足のために回収回数を大きく減らさなければならなかった



そよ風に吹かれながら、カワヨグリーン牧場で草花とたわむれる高橋京香さん（百石高2年、左）、佐藤安華さん（同3年）。50年後も100年後も、さわやかな空気の下で自然と親しむことができる環境であってほしい

Keyword

ECO (エコ) ◎ 英語の "Ecology (生態学)" が語源。省略形の "ECO (エコ) は和製英語である。「環境に配慮する」「地球に優しい」などの意味合いを持たせることが多い。例えば「エコポイント」「エコツーリズム」など。語源の意味だけにとどまらず、幅広く使われている。参考/ウィキペディアフリー百科事典

Why
we need
"ECO"?

- ①太陽の光を受け、まぶしく輝く佐藤さん宅の太陽光発電システム。最大出力は3.0kWだ
- ②メーターを確認する佐藤さん。左は「売電（佐藤さん宅で発電した電力を売る）」のもの、右は「買電（電力会社から買う）」のもの
- ③佐藤さんが先月売った電力は256 kWh、12,288円だった



①



自宅で電力を生み出す メリットは大きい

春の青空が広がる休日、庭先で子どもたちのにぎやかな声と共に、小気味良くまきを割る音が響く。佐藤栄光さん（31）向山は、見よ見まねでまきを割る長男颯君（9つ）を笑顔で見守る。佐藤さんは3年前、念願の新居を建てた。家の屋上には太陽光発電のパネルが取り付けられている。最大出力は3.0kW。日光が反射し、きらきらと輝く。

震災後、2度の停電に見舞われた。しかし佐藤さんの家は停電時も太陽光発電システムのおかげで、日中だけはしっかり電気が使えたという。「携帯電話を充電したり、家電製品を使えたりしたのは大きい。太陽光を取り付けて良かった」とにっこり。暖房もまきを使っていたため、停電で困ることはほとんどなかったという。太陽光発電は発電した電力を使うだけでなく、電力会社へ電力を売ることができ。佐藤さんは「今月発電した電力は256kW、1万2,288円。毎月伝票を見るのが楽しみだ」と目を細める。

1kWあたり4万円 国補助と組み合わせ可

▼電力を生み出せる▼電力を売ることができる▼環境に優しい——など、いいことづくめのように思える太陽光発電だが、弱点は「高価」であること。4kWタイプなどは200万円以上も掛かる。高価なこと、「ほしいけれども買えない」という声も多い。現在、町内でこれらの設備を設置しているのは100件程度にとどまっている。

クリーンエネルギーの普及を進めるため、町は今年度から太陽光発電への補助を始めた。町企画課の西館道幸課長補佐は「1kWあたり4万円だが、国の助成金と合わせると9万円近くになる」と話す。今後、さらに太陽光発電システムが普及するのではないかと期待を込めている。



企画課 西館道幸 課長補佐

「住宅用太陽光発電システム設置補助制度」は、住宅に太陽光システムを取り付ける個人に対し、費用の一部を助成する制度です。

金額は最大出力1kWあたり4万円です。ただし4kW、16万円までが上限です。国の助成制度を組み合わせると、9万円近い助成を受けられます。

太陽光発電システムを取り付けする前に、町企画課へ申請してもらう必要があります。

今年度は予算の範囲内で、20件程度を一次募集します。

詳しい内容は企画課（☎0178-564701）へ問い合わせるか、町ホームページで確認してください。

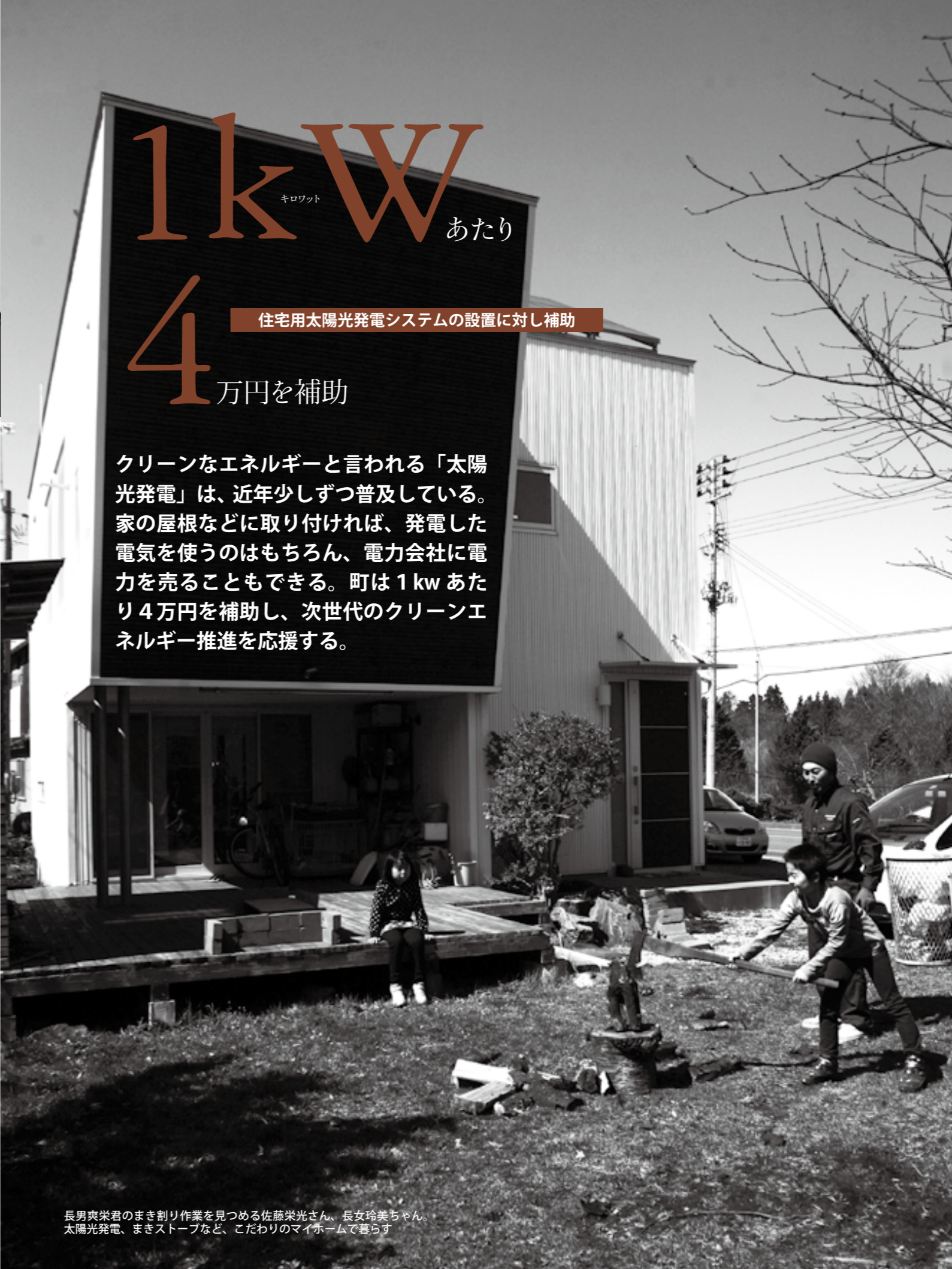
MICHIYUKI NISHIDATE

1kWキロワットあたり

4万円を補助

住宅用太陽光発電システムの設置に対し補助

クリーンなエネルギーと言われる「太陽光発電」は、近年少しずつ普及している。家の屋根などに取り付ければ、発電した電気を使うのはもちろん、電力会社に電力を売ることにもできる。町は1kWあたり4万円を補助し、次世代のクリーンエネルギー推進を応援する。



長男颯君のまき割り作業を見つめる佐藤栄光さん、長女玲美ちゃん。太陽光発電、まきストーブなど、こだわりのマイホームで暮らす



5 バケツに資源が積み込まれた後、回収業者が到着した。バケツを運搬し、作業は終わった
 4 荷台がいっぱいになると、トラックは集会所に戻る。大型バケツに資源を分別し入れる
 3 玄関前に置かれた空き缶、ペットボトル、古新聞などをトラックに積み込む
 2 この日は2台のトラックで回収作業に出発した。資源を回収するため、町内の家庭を巡回する
 1 古間木山集会所に集合した子ども会の会員ら。誰が何の役割をこなすかを打ち合わせする



Voice

久保匠平 君

廃品回収をしていると、いろいろな人から「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けられます。いつも楽しみながら作業をしています。

Shohei Kubo

青葉子ども会育成会 会長 **高森真昭**

廃品回収で得るお金は、子ども会の貴重な収入源です。会員の多くが、奨励金が引き上げられるのはありがたいことだと感じています。

Masaaki Takamori

ることが伝わっている。子ども会のために「空き缶を捨てずに保管していた」という人も多い。
 玄関先にまとめられた空き缶などを、子どもたちは手際よくトラックへ積み込む。中にはあわてて空き缶などの袋を持ち込む人も。
 「いつもご苦労様」「助かってるよ」
 優しい声が子どもたちに掛けられる。
 集会所には続々と回収物が集められる。それらは種類ごとに分けられ、大きな回収用バケツに入れられる。この日集まったのは、バケツ5つ分にもなった。回収係を努めた久保匠平君（木ノ下小6年）は「今日は雨が降っていたからね。いつもはもっと多いよ」と目を輝かせる。
 資源回収は関わる人々が楽

しみながら交流を深め、貴重な収入を得られる活動だ。ごみとして出してしまえば、これらを得ることはできない。本当にごみは「宝の山」だ。
奨励金2.5倍に——リサイクル推進に期待
 さらに資源回収で得られる収入は、業者からのお金だけではない。町は資源回収を行う団体に対し「資源集団回収事業奨励金」を出している。これは回収した資源の重さに応じ支払われる。今まで1キあたり2円だったが、この4月から5円に引き上げられた。子ども会などにとつて業者への売り上げ金だけでなく、町からももらえる奨励金が2.5倍に引き上げられるのだ。

資源回収実績のある主な業者

業者名	電話番号	びん特	びん大	びん他	缶A	缶S	ペット	紙類
1 浦田商事	☎ 0178 ㉔ 2753	○	○		○			○
2 寺下運輸倉庫(株)	☎ 0176 ㉓ 5050				○	○	○	
3 青南商事八戸支店	☎ 0178 ㉔ 8535				○	○		
4 遠藤商店	☎ 0176 ㉓ 4850						○	
5 大石産業(株)	☎ 0178 ㉓ 3112							○
6 華コーポレーション	☎ 0178 ㉓ 5051				○	○	○	○
7 本村酒店	☎ 0178 ㉓ 4432	○	○	○				

●びん特=1.8ℓ以上の特大びん ●びん大=ビール大びん ●びん他=その他のびん ●缶A=アルミ缶 ●缶S=スチール缶 ●ペット=ペットボトル ●紙類=新聞、雑誌、ダンボールなど紙製品
 [資料提供/町環境保健課]

本事業を担当する町環境保健課の若松徹主査は「ごみを減らすだけでなく、リサイクルへの取り組みを進めるための事業。積極的に活用してほしい」と力を込める。
 ごみではなく、分別して回収し、収入を得る——リサイクル推進に、さらに拍車がかかることが期待される。



環境保健課 主査 **若松徹**

奨励金を受けるための手続きなどはとても簡単

資源集団回収事業奨励金は、子ども会や町内会などで行う廃品回収などへ奨励金を支払う制度です。去年は40万円近くの奨励金を交付しています。
 手続きは簡単です。団体が回収した資源を業者に売った後、「奨励金交付申請書」「買取明細書」などを作成します。前者には団体代表者のはんこを押します。後者には缶、ペットボトル、紙などの回収量を、業者からキロ数で記入してもらいます。
 交付決定後、町は奨励金を指定口座へ振り込みます。詳しい内容は環境保健課(☎ 0178 ㉓ 4218)へ気軽に問い合わせてください。

2円から5円にアップ

資源集団回収事業奨励金で資源回収サポート

空き缶、ペットボトルや古新聞などは「資源ごみ」として回収されている。しかしこれらを資源として回収し、業者に引き取ってもらえれば貴重なお金を得られる。町はこれまで1kgあたり2円の奨励金を交付していたが、その額は今年度から5円に引き上げられる。「ごみに出せば“死源”。分ければ“資源”——頑張る町内会や子ども会などを、町は力強くサポートする。

ごみは「宝の山」 回収事業は地域に浸透

「雨が降ってきそうだな」「待っている人がいるからやめるわけにはいかない。やるぞ」
 4月9日朝9時——古間木山集会所に子どもや大人の声が響く。古間木山地区の子ども会の「廃品回収」が始まった。これは空き缶、ペットボトルや古新聞などを家庭から回収するもの。回収した資源は専門の業者へ引き取ってもらい、重量に応じてお金を得る

ことができる。これらの回収事業は古間木山だけでなく、町内いくつもの団体が実施している。「資源ごみ」を減らすだけでなく、貴重な収入を得るための大切な活動だ。
 作業に参加したのは▼あすなる子ども会育成会(佐々木誠徳会長)▼青葉子ども会育成会(高森真昭会長)——の会員ら約40人。参加者は「誰がどの地域を巡回するか」などを打ち合わせ、トラックに乗り込んだ。
 それぞれの家庭には、すでにこの日に回収作業が行われ



2/3 サポート

家庭用生ごみ処理機の購入に対し補助

家庭から出されるごみ総重量のうち、生ごみは4割以上を占めている。生ごみを減らせば、ごみ処理に掛かるコストは大きく減る。町はコンポストや生ごみ処理機などの購入費のうち、3分の2の費用を補助している。

「ごみ袋の重さがとても軽くなった。今まであんなに生ごみを出していたのかと実感した」
 藤ヶ森さんは以前を思い返す。毎日台所から出る生ごみを、土間にある処理機に入れる。夜になり、寝る前に処理機のスイッチを入れる。生ごみは3時間ほどで水分がすつかり抜け、からからに乾く。朝になったら処理機の中から乾いた生ごみを取り、小屋にストックする。乾いた生ごみは、いやなおいはほとんどない。肥料として最適だ。「大好きな家庭菜園が、また楽しくなった。楽しんでごみを減らせている」と話す藤ヶ森さん。▼においが気にならない▼ごみを減らせる▼家庭菜園を楽しめる——生ごみ処理機はまさに「一石三鳥」だ。

町は「家庭用生ごみ処理機購入費補助金」を設け、処理機購入費用の3分の2、3万円を上限に補助金を交付している。21年度から始まった本事業は、すでに200人以上が補助を受けている。新町地区に住む藤ヶ森和子さん(59)は「この制度を知り、すぐに生ごみ処理機を買った。補助金をもらえるのはとてもありがたい。家計が助かる」とほほ笑む。それまで週2回、燃えるごみの回収日には、生ごみがたくさん入ったごみ袋を出していた。しかし生ごみ処理機を手に入れてから、その量は激減した。



4/5 力添え

資源回収ボックス設置に対し力強く補助

「資源回収ボックス」を設置し、資源リサイクルを進める町内会が増えてきている。資源ごみ回収日は月1回だが、回収ボックスならいつでも資源を出せる。町はボックス設置に掛かる費用のうち、5分の4を助成し、頑張る地域を支える。

◀資源回収ボックスに空き缶を持ち込む深沢町内会員ら

「深沢地区のごみ集積場所には、空き缶や紙類が出されることはほとんどない」
 こう話すのは深沢町内会で会長を務める工藤一雄さん(73)。深沢町。1年前から集会所の敷地に▼アルミ缶▼スチール缶▼新聞やダンボールなど紙類——を回収する「資源回収ボックス」を設置した。これまで空き缶などの「資源ごみ」は、月1回の回収日に合わせ、各家庭でごみ集積場所へ出していった。回収日は少ないため、その日が来るまで屋内や小屋などため込んでおかなければならなかった。資源回収ボックスを設置してからは、地域の人々が自主的に空き缶、紙類を持ち込んだ。工藤会長は「最初は何度か呼びかけた。分別のルールなども知らせた。ここ深沢の人々は、互いに気持ちよく使っている」と胸を張る。
 設置費用は20万円以上掛かっているが、町の「資源ごみ箱設置事業」を活用し、5分の4の補助金ももらった。町内会が負担したのは数万円だ。もちろん回収した資源は業者へ販売され、町内会の収入に生まれ変わる。
 「町の環境事業に常々感謝している」と話す工藤さん。深沢のように町の補助を受け、資源回収ボックスを取り付けた町内会はすでに14に上る。「ごみを資源に」と考える意識は、確実に高まっている。

Colum

家庭に普及し始めた 家庭用生ごみ処理機

コンポストは土の上に埋め込み、細菌などの力で生ごみを分解するもの。価格は普通サイズで1万円程度だ。電気で生ごみを処理する生ごみ処理機は、熱や風などを加えて生ごみを乾燥させる。価格は5~6万円程度と高価だが、処理能力は高い。



▲裏庭のネギ畑で手入れ作業をする藤ヶ森さん。野菜作りに生ごみ堆肥を使う

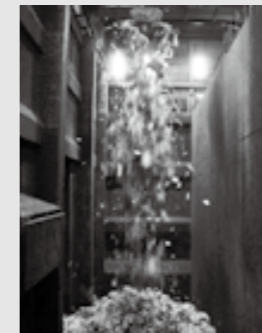


▲処理機で乾燥させた後の生ごみは水分が抜ける。いやなおいはほとんどない

Colum

ごみが増えれば 処理コストも増える

本町で回収されたごみは、十和田地域広域事務組合のごみ処理場へ運ばれ、処理される。ごみが多くなるほど、処理にかかる燃料や電力も多く必要になる。その分の負担は、管内の市町村で支払わなければならない。もちろん私たちの「税金」だ。



▲資源回収ボックスの内部。ダンボールや古新聞などが整然と並べられる。町内に回収ルールがしっかり浸透している
 ◀深沢町内会の工藤一雄会長。「回収ボックス設置後、資源ごみは激減した」と力強い。

私たちにできる「エコ」はまだ身近にある

- ☑ 使わない電化製品のコンセントを、たまには抜いてみよう。
- ☑ いつもより5分早く家を出て、ゆっくり車を運転してみよう。
- ☑ 少しの間車を停めるときでも、エンジンを切ってみよう。
- ☑ 遠くに出掛けるなら、たまには電車やバスを使ってみよう。
- ☑ たまには早く寝て、夜の消費電力を抑えてみよう。
- ☑ いつも見ているテレビの時間——明日は1時間少なくしてみよう。
- ☑ 暖房を普段より2℃下げたり、冷房を普段より2℃上げたりしてみよう。
- ☑ 輸送代のかからない、安心して安全なおいらせの地元食材を食べてみよう。
- ☑ たまには仕事を早く切り上げて、愛する家族との団らんを楽しんでみよう。
- ☑ 「自分にできるエコ」——あなたの大切な人、愛する人と話し合ってみよう。



「ごみを減らす」「エネルギーを節約する」「エコに結びつくさまざまな取り組みは、この町だけでなく、世界に必要なものになっている。でも「我慢する」というように取ってしまうのは、どこかで苦痛に思ったり、面倒くさく思ってしまうものだ。長続きできなければ、どんな立派な取り組みだって考え方だつて「絵にかいたもち」に終わってしまう。

エコを進めながら「楽しんで」「何か得をするように」と思えばいい。一人一人が無理なく続けられる「エコ」はたくさんある。

大震災は人命を奪い、財産を破壊しただけでなく、エネルギー不足を浮き彫りにした。これからもしばらく続くかもしれない。人的、経済的な支援だけでなく、エコを進めることも立派な支援につながるはずだ。おいらせの一人一人の取り組みは、2万5千倍になり被災地復興を支援できるかもしれない。

さあ、みんな始めてみよう。おいらせにできるエコの取り組みを。みんなが笑顔で進められる小さなチャレンジを。

◎環境美化指導員の活動内容はどうなのかなのか。

田澤◎環境美化指導員は平成19年に制定した「町環境美化条例」で位置づけられた役割です。主に町内のごみ集積場所や資源回収ボックスなどを巡回します。不法投棄されている場所なども見ます。巡回は週2回、町内を東西に分けて、2班で巡回し、町へ状況を報告しています。最初の頃は存在を知られていなかったため、珍しいものを見るような目で見られることもありましたが、今はだいたい知られるようになってきました。自然と住民のほうから「ご苦労様」「いつもありがとうございます」と声を掛けられるようになりました。

◎ごみ分別状況はどうか。

金田◎町は5年ほど前から、ごみを7種類に分別することにしました。しかし最初の頃は「なぜこんなに分別しなければならないのか」という声も聞かれました。中には収集日ではない日に出されているごみもありました。しかし最近はそのようなことはなくなりました。各地域のごみ集積場所は、とてもきれいに使われています。ごみに対する意識が確実に高まってきていると実感しています。

◎ごみへの意識が高まっていると実感できる、具体的な事例は何かあるか。

金田◎一川目地区のNo.24のごみステーションなどは、利用者が自発的に啓発のチラシを貼ったり、ごみのルールを徹底させたりしています。「地域のごみは地域で管理する」という姿勢が感じら

れます。北部地区などでもそのような事例があると聞いています。

◎不法投棄の状況はどうか。

中村◎最近はずいぶん減ってきたのではないかと思います。しかし森ややぶの中など、人目に付きにくいような場所にはタイヤや冷蔵庫など、意図的に捨てられているのを見ます。残念なことです。人目を気にしながらそこそそ捨てに来るくらいなら、後ろめたいことがないように粗大ごみとして処理してほしいと思います。環境にとって良くないだけでなく、捨てた人自身にも「罪悪感」が残るはず。そんな大人の姿を、子どもたちはちゃんと見えています。絶対不法投棄はやめてください。

◎ごみ分別が定着してきた理由は何か。どのようなメリットがあるか。

八重垣◎やはり慣れてきたんでしょうね。でもそれはただの「慣れ」だけでなく、「減らしてみよう」と思う人が増えてきたからかもしれません。ごみを減らすことは「環境に優しい」「温暖化の進行を食い止める」「ごみ処理コストを下げる」——など、さまざまなメリットがあることは誰もがわかっていると思います。でも「やらされ意識」では進まないと思います。削減効果を実感しながら、楽しんで、無理なくできることがたくさんあります。我慢するのではなく、できることを少しずつ積み重ね

るだけでいいのです。ごみに限らず、電気だって燃料だって、同じようなことが言えるんじゃないでしょうか。

◎今後期待することは何か。

田澤◎環境美化条例をつくり、それをきちんと実践しているおいらせ町民は、ごみやエネルギーに対する意識がとても高いと考えています。環境に配慮し、エコを進めていくことは、この町のためだけではなく、子どもや孫たちが大きくなった頃の未来のため、この国や世界全体のためにつながると思います。東日本大震災で、東北地方を中心に電力や燃料が不足しています。私たちが無理なく、少しずつでもエコへの関心を高め、実践するならば、その積み重ねはきっと役立つはず。復興支援はお金だけではなく、少しずつでもエコへの関心を高め、実践するならば、その積み重ねはきっと役立つはず。復興支援はお金だけではなく、少しずつでもエコへの関心を高め、実践するならば、その積み重ねはきっと役立つはず。



Kunio.T

Takuya.K

Esao.N

Katsutoshi.Y

田澤久仁於
金田卓也
中村栄佐雄
八重垣勝利

エコの番人 環境美化指導員

に聞く。

▶▶▶ Apr.07-2011

子 ■町内小中学校入学式
子どもたちの新しい学校生活始まる



町内小中学校の入学式は4月7日に開かれ、5小学校で270人、3中学校で272人が入学し、新たな学校生活が始まりました。
 下田小学校（西坂 宏 校長、児童118人）では男子7人、女子7人、合わせて14人の児童が新1年生として迎えられました。
 西坂校長は新1年生たちへ「あいさつを元気良くしてほしい。話をよく聞き、命を大切にできる小学生になってほしい」と語りかけていました。

◀袴田健志教育長から黄色い帽子をかぶせてもらう新1年生

▶▶▶ Apr.12-2011

児 ■交通安全街頭指導
児童の登校を温かく、優しく見守る



町交通安全協会（川口弘治会長）、町交通安全母の会（嶋田政子会長）などの会員らは4月12日早朝、登校する木ノ下小学校児童に安全な道路の渡り方などを指導しました。
 街頭指導は北公民館付近の交差点で実施。ここでは朝晩の交通量が特に多く、児童らは信号をよく見ながら、左右を確認し交差点を渡っていました。
 嶋田会長は「子どもたちが事故に遭わないよう、これからも支えていきたい」と話していました。

◀信号や車をよく確認しながら、交差点を渡ろうとする児童

▶▶▶ Apr.14-2011

新 ■行政推進委員会議
年度のまちづくりに向け真剣議論



行政推進委員会議は4月14日、東公民館で開かれ、58地区の行政推進委員や町関係者が参加しました。
 町は今回の震災の経過説明や今後の対応などを説明した上で、今年度の町主催事業などを報告しました。
 行政推進委員からは「防災計画見直しは地域も参画し作業を進められないか」「災害時に防災無線放送がきちんと使えるかどうか、点検が必要だ」など、さまざまな意見が寄せられていました。

◀新推進委員を代表し委嘱を受ける大内吉栄さん（本町六丁目）

▶▶▶ Mar.07-2011

お ■おいらせブランド認定審査会
いらせブランド認定へ真剣審査



町ブランド推進協議会（西入重雄会長）は3月7日、おいらせブランド認定審査会を開きました。町特産品を使ったさまざまな料理、お菓子などが出品されました。
 この審査会は町の特産品などを「認定品」「推奨品」として登録するもの。これまで認定品は21品、推奨品は16品が登録されています。
 審査員はそれぞれの品を口に含みながら、味わいや香りなどを確かめていました。

◀桃川の日本酒を使った「杉玉ケーキ」に見入る審査員ら

▶▶▶ Mar.09-2011

希 ■町内中学校卒業証書授与式
望と思い出を胸に母校を巣立つ



町内中学校の卒業証書授与式は3月9日、3中学校（下田中、木ノ下中、百石中）で開かれ、保護者など関係者が見守る中、これまで学んできた卒業生たちに卒業証書が手渡されました。
 木ノ下中学校（本江 宏 校長、生徒291人）では91人の卒業生が母校を巣立ちました。
 本江校長は「これから思い通りにならないこともあるだろう。それでも母校で積んだ経験を生かし、あきらめず頑張してほしい」と激励しました。

◀本江校長から卒業証書を手渡される円子幸恵さん（写真左）

▶▶▶ Mar.13-2011

勇 ■消防協力者表彰
気ある行動で火災被害を食い止める



八戸北消防署（木村光雄署長）は3月13日、消防協力者表彰を開き、北村法政さん（本町六丁目）、清水正弘さん（同）、沼端雄樹さん（下前田）の3人を表彰しました。
 これは2月14日、町営くるみ団地で発生した火災に3人が駆けつけ、初期消火や逃げ遅れ者の確認などを行ったことに対し表彰したものです。
 北村さんは「被害が少なくて良かった。知り合いの家と知り、とにかく夢中で火を消した」と話していました。

◀前列左2人目から、感謝状を贈られた北村さん、清水さん



阿光坊古墳群から出土した遺物が展示された館内。奥には力作の壁画も

いにしえ人の思い
今ここによみがえる

File-02



古墳館・民具ふれあい館 待望のオープンを迎える

「阿光坊づくり古墳館」は4月15日にオープンし、関係者約30人が門出を祝った。使われなくなったコンビニ跡地を利用し、有志らの手で作り上げた古墳館には、千年以上前の土器などが展示される。昔の農具などを展示した「民具ふれあい館」も装い新たにリニューアル。おいらせの古文化が今ここによみがえる。

「阿光坊づくり古墳館」は4月15日、関係者が見守る中、待望のオープンを迎えた。本来3月中にオープンする予定だったが、震災のために延期していた。待ちに待ったオープンに、関係者の喜びもひとしおだ。

阿光坊古墳群は平成19年に国史跡に指定された、おいらせ誇りの文化財だ。墳墓が連なる「末期古墳」の中でも、極めて保存状態が良いのが特徴だ。

関係者らは「古墳群の近くに展示施設を作りたい」と考えた。コンビニエンスストアの空き家を利用し、ほぼ1年がかりで立派な展示施設をつくり上げた。

館内には▼壮大な壁画▼300点以上もの出土物▼古墳の歴史を開設したパネル▼などがずらりと並ぶ。

また、木ノ下地区の民具を集めた「民具ふれあい館」もリニューアルした。農具などを見学できるのももちろん、専門家の詳しい説明を聞くこともできる。

▼いにしえ人の思いが詰まった古墳館▼民具に触れることのできる民具ふれあい館——おいらせに新たな「見所」が加わった。

Photo_01 ◎セレモニーに先立ち、震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島方向を向き、黙祷をささげた

Photo_02 ◎昔の農具などを展示する民具ふれあい館。いろりの周りに座ると、まるで100年前にタイムスリップしたかのようだ



01



02

Akoubou & Mingu

開館日/土曜日、日曜日、祝日
開館時間/9:00-16:00



担任の先生の話聞き、横断歩道を渡る百石小の新1年生ら



File-01

大切にしよう
一つしかない命

町内小学校の 交通安全教室

町内小学校は新1年生を迎え、交通安全教室を実施している。ここしばらく、小学生の交通事故は発生していないが「油断は禁物」だ。交通ルールを正しく守り、安全に登下校できるよう、新1年生らは警察官や先生の話をよく聞きながら、横断歩道を渡る練習を何度も繰り返した。

「必ず右と左を見るんだよ」先生の大きな声が、百石小学校玄関前に響く。黄色い帽子をかぶった、かわいらしい新1年生はその話真剣に耳を傾ける。

百石小学校（水口宏校長、児童376人）は4月12日、交通安全教室を開き、▼横断歩道の渡り方▼歩道の歩き方▼自転車の運転——などを学んだ。

百石小学校は玄関のすぐそばに大きな道路がある。朝夕は職場へ向かう人々で、車通りが多い場所だ。大型ダンプカーなどの通行も多い。

1年生たちは交通ルールを学んだ後、さつそく友達と手をつなぎながら、横断歩道を渡る練習をする。横断歩道のボタンを押し、車が止まったのを確認し、左右を良く見て渡る。同じ動作を何度も繰り返し、体に覚えこませている。

三沢警察署おいらせ交番の畑山信一 所長は、子どもたちの姿をじつと見守る。

「たった一つしかない、大事な大事な命です。車に気を付け、元気に学校で勉強するんだよ」大人たちの願いを、子どもたちはしっかりと受け止めている。



苦米地勇樹 君
(木内々小4年)

自転車の乗り方は毎年練習していますが、忘れていたことも多いです。前後をしっかり確認して、急発進したりしないように気を付けます。



畑山信一 所長
(おいらせ交番)

本町は去年、交通事故で命をなくした人が4人もいます。「自分の命は自分で守る」つもりで、しっかり交通ルールを守ってほしいと思います。

Voice

Photo_01 ◎交差点で押しボタンを押す百石小の1年生。横断歩道の信号が青になっても、車が止まったかどうかを確認してから渡る



Photo_01

Photo_02 ◎木内々小児童の交通安全指導に当たった間木パトロール隊のメンバーら



Photo_02

税金 Information

税務課
☎ 0178 56 4704



固定資産税

固定資産税は毎年1月1日の賦課期日現在、▼土地▼家屋▼償却資産——など、町内にある固定資産の所有者に課税されます。税額は固定資産の価値をもとに算定します。

●税額Ⅱ課税標準額×税率
「課税標準額」原則として固定資産課税台帳に登録された価格です。

「税率」1.4%

「免税点」町内に同一の人が所有する固定資産ごとの課税標準額の合計が、次の額に満たない場合は課税されません。

(土地) 30万円
(家屋) 20万円
(償却資産) 150万円



固定資産税評価替え
実地調査を実施します

家や土地などの固定資産評価額は、固定資産税を決めるために必要です。町は3年ごとに「評価替え」を行い、正しい評価額を調査しています。

宅地は「路線価方式」という評価方法で評価額を決めています。宅地に接している全ての道路に「路線価」を付けて、宅地評価の基本価格にします。

調査は6月から12月にかけて、評価の専門業者に委託して実施します。皆さんの協力をお願いします。

基本的に私有地に立ち入りすることはありません。ただし調査のため必要なときには、所有者の許可を得た上で立ち入りすることがあります。調査員は町が発行する「固定資産調査員証」を携行します。

縦覧

固定資産縦覧帳簿の縦覧期間は、4月1日から5月31日の第一期納付期限の日までです。

固定資産課税台帳(Ⅱ名寄帳)は、年間を通じて閲覧できますが、縦覧期間以外は無料です。詳しい内容は広報おいらせ4月号を確認してください。

住宅用地の特例

現に住宅用(別荘などを除く)として使用している土地に対し、税負担を軽減する特例措置が設けられています。

新たに特例措置適用の対象になる場合、現に適用されている内容に変更が生じた場合は申請が必要です。

申告期限は「対象になった(新築家屋など)」、または「変更になった(家屋滅失など)」次の年の1月31日までです。

税額を決めるために大切な情報です。該当者は必ず申告してください。賦課期日現在、所有する資産に対する適用確認は、固定資産課税通知書に添付して

被災者への医療支援



震災で保険証がなくても
サービスを受けられます



震災で保険証をなくした人でも、病院、介護サービス事業所などでサービスを受けることができます。

利用するときには▼氏名▼住所▼生年月日——などを確認できれば、受診することができま。詳しい内容は環境保健課、介護福祉

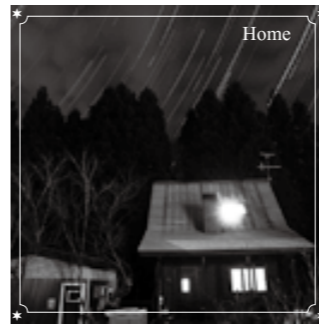
る課税明細書をご覧ください。

よくある質問

問 平成19年に住宅を新築しました。23年度分から固定資産税が高くなったのはなぜですか。

答 新築住宅は一定の要件を満たしていれば、3年間に限り、税額が2分の1(床面積120平方メートル)に減額されます。この場合、20年度から22年度分は減額されていきました。23年度は期間が終了し、本来の税額になります。

認定長期優良住宅は減額適用期間が5年間に延長されます。ただし申請が必要です。



課へ気軽に問い合わせてください。

対象になるもの

- ① 医療保険被保険者証
- ② 介護保険被保険者証
- ③ 自立支援医療受給者証(更生医療、精神通院)
- ④ 重度心身障害者医療費受給者証

問い合わせ

- 環境保健課
☎ 0178 56 4218
- 介護福祉課
☎ 0178 56 4705

医療機関での支払いは
猶予・免除されます



震災で被害を受けた人のうち、次の人は医療機関での窓口支払いは猶予を受けたり、免除を受けたりする

被災者に対する減免

東日本大震災の地震や津波で被害を受けた人は、損害の程度に応じ町税などの減免を受けられます。ただし、国の方針により減免の判断基準が変わることがあります。

減免対象と割合

税金の種類	減免対象	減免割合
● 固定資産税	被害を受けた固定資産の損害額が、その固定資産の価値の20%以上	固定資産の損害額に比例して減免
● 町・県民税	住宅または家財が受けた損害額(保険などで補てんされる金額を除く)が、それらの価値の30%以上で、22年の合計所得が1,000万円以下	住宅または家財の損害額に比例して減免
● 国民健康保険税		財合応に比例して減免
● 後期高齢者医療保険料		住宅または家財の損害額に比例して減免
● 介護保険料		住宅または家財の損害額に比例して減免

申請に必要なもの

● 申請受付 特別な事情を除き、それぞれの税金ごとの課税の日から、第1期納付期限7日前までに申請を受け付けます。

● 申請に必要なもの
はんこ
*罹災程度が分からないものは、現地確認、損害額を証明する見積書や領収書などが必要になります。



被災者への
子育て支援

町民課
☎ 0178 56 2246

乳幼児医療費
所得制限に特例措置



乳幼児医療費は、0歳から就学前までの子に医療費を助成する制度です。通常は所得制限があります。

震災により▼著しい損害を受けたと認められるとき▼町民税の減免を受けたとき——は、所得制限が適用されることがあります。

公民館講座

楽しみながらスキルアップできる講座です。受講は無料。申し込みは町民を優先します。

1 北向直子さん 和菓子作り教室
Course が教える Kitamuki Naoko ●向山在住。町ブランド推進協議会でも大活躍



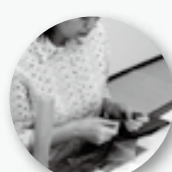
5月26日(木)、13時～16時、先着15人
材料費●500円
持ち物●エプロン、三角巾、筆記用具
申込期限●5月18日(水)まで

2 塚本正さん 中国語講座
Course が教える Tukamoto Tadashi ●青葉在住。中国語を学ぶため中国留学した経験を持つ



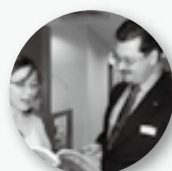
6月2日～8月4日までの毎週木曜日、13時～16時、先着15人
□初級 18時半～19時20分
□中級 19時半～20時半
持ち物●ファイル、筆記用具
申込期限●5月20日(金)まで

3 工藤邦子さん 和裁教室
Course が教える Kudo Kuniko ●木ノ下在住。三沢市などでも積極的に活動を展開



6月7日から8月2日までの毎週火曜日、10時～12時、先着10人
材料費●実費分は各自負担
制作物●ゆかた
持ち物●反物(1反)、裁縫道具、ものさし、裁ち板(ある人だけ)、さらし木綿など
申込期限●5月25日(水)まで

4 バーバーさん 英会話教室
Course が教える James Barber ●町教育委員会ALTを務める。学校でも授業は大人気



6月8日から24年3月28日までの毎週水曜日、各先着10人
□初級 9時半～10時20分
□中級 10時半～11時20分
□初～中級 13時半～14時20分
□上級 15時半～16時40分
教材費●実費分は各自負担
申込期限●5月25日(水)まで

●生涯学習課 ☎0178 56 4276

図書館/新着図書

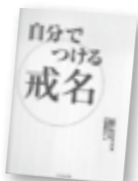
Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。



一般書 廃墟チェルノブイリ 中筋純 著

風雨にさらされ続けた遊園地の観覧車一時間が止まったかのように「ソビエト連邦」がフリーズした建物一不気味な威容を放つ石の棺桶——「失われた22年」のありのままが、今ここにある。 [町立図書館]



一般書 自分でつける戒名 門賀美央子 著

戒名の基礎知識やしきたりなど、実例を取り上げながら分かりやすく解説した「戒名の名づけ本」。知っておきたい決まりことから、戒名にまつわるエピソードまで広く紹介する。 [町立図書館]



一般書 ポリテイコン(上)(下) 桐野夏生 著

過疎、高齢化、食品偽装、外国人妻、脱北者——この数十年間東アジアを襲った波は、いやおうなく二本の片隅の村を飲み込んでいった。日本のありのままの姿を書き尽くしたこん身の長編小説 [町立図書館]



一般書 お風呂の達人 石川泰弘 著

入浴剤の老舗「バスクリン」社員が、長年の研究で分かった「正しいお風呂の入り方」を大公開。疲労回復からメタボ解消、ダイエットまで、目的に合った入浴術を分かりやすく紹介する [町立図書館]



一般書 花の鎖 湊かなえ 著

毎年届く謎の花束。元英語講師の梨花、結婚後子どもができずに悩む美雪、絵画講師の紗月、3人の女性の人生に影を落とす謎の男「K」——彼らは感動のミステリーを紡ぎ出す [町立図書館]

ほかにも新着を取りそろえています

ダークゾーン (貴志祐介)、デイサービスで人気の介護食83 (吉田三和子)、他人の何気ない一言に助けられました (大手小町編集部)、困碁小町嫁入り七番勝負 (犬飼六枝)、武士の食卓 (緋宮菜那) ほか

図書館の行事

Oirase-library event information

- 本展示
 - 一般●身を守るすべを知る
 - 児童●世界の仕掛け絵本
- 読み聞かせ会
 - 5月14日(土)、28日(土) 14時から
- 幼児のための読み聞かせ&布絵本で遊ぶ会
 - 5月26日(水) 10時半から
- 5月の休館日
 - 2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)、31日(火)

町立図書館 ☎0178 56 3900

おいらせアーカイブス File_039



おしきり 押切 [民具ふれあい館所蔵]

文/文化財保護審議会委員 櫻庭俊美

農家は一時代前までウマを飼育していた。夏の一日は朝の草刈りから始まり、その朝草を飼料にした。 冬季の飼料は秋までに準備しておく。藁、干し草を刻んで、小麦をひいて粉にしたときにできる皮のくず「ふすま」、雑穀などを混ぜ、煮たり温めたりしてウマに与えた。 藁や干し草を刻むため、手押し「押切」を使った。これは「トナ切」「秣切」とも呼ばれた。 ▼木台に薄刃の大型包丁の刃を上向きにして固定

し、包丁の刃を受ける間隔を開けて二本並べた薄刃の先端を、包丁に可動式に連結して手元に長い握り柄を付けたもの ▼木台に受刃を固定し、握り柄付きの包丁の先端を受刃に可動式に連結したものがあ。いずれも包丁の刃と受刃の間に草などを置き、握り柄を手にし、長さ3センチくらいに切る。 萱や麻の茎を切りそろえるなど、押切の用途は広く、明治後期から昭和昭和20年代まで、農家の必需品だった。

体育協会加盟団体 Oirase Sports Association

File 7 グラウンドゴルフ協会 (山崎斉会長、会員90人)

誰でも、どこでも、クラブとボールがあれば楽しめます。5月3日には町内会対抗大会も開催します。郡総合体育大会など、大きな大会でも活躍しています。 年会費は1,500円です。友達と一緒に、気軽に楽しみましょう。

- 東支部 いちよう公園 毎日13時15分頃から練習
- 西支部 下田公園、サーモンパーク 火、木、土の9時から練習



- 問い合わせ
 - 会長 山崎斉 ☎0178 52 5045
 - 東支部長 中尾昌俊 ☎0178 52 4703
 - 西支部長 田中光穂 ☎0178 56 4255

Oirase Town Office Examination

23年度 町職員採用試験(上級)実施します



- 採用予定
 - 一般行政職/若干名
 - 一般行政職(身体障害者)/若干名
- 試験の種類 上級試験
- 受験資格

- ①昭和51年4月2日から平成2年4月1日までに生まれ、大学以上を卒業(24年3月卒業見込みを含む)し、活字印刷文の出題に対応できる人
- ②[身体障害者]身体障害者手帳の交付を受けている人のうち、自分自身で通勤可能で、介護なしで職務を遂行できる人
- ③▶日本国籍を有しない▶成年被後見人または被保佐人▶禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わっていない人——は受験できません。

- 1次試験日 7月24日(日)
- 受験申込用紙の交付 5月6日(金)から役場総務課で交付します。町ホームページからもダウンロードできます。その場合、申込用紙は両面印刷してください。郵送希望の場合「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、80円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒(長形3号)を同封してください。受験申込書は分庁サービス課でも交付します。ただし提出先は総務課です。

- 受付期間 5月6日(金)から6月3日(金)までです。ただし土日、祝日は除きます。受付時間は8時15分から17時までです。郵送の場合、6月3日(金)までの消印があるものに限り受け付けます。

- 提出書類
 - ①職員採用試験申込書(備え付けのもの)
 - ②卒業(見込み)証明書
 - ③顔写真2枚(受験前3カ月以内に撮影したものを準備してください。うち1枚は申込書に貼り付けてください。写真のサイズは縦4cm、横3cmです)
 - ④[身体障害者]身体障害者手帳の写し
- 初級・中級試験 広報おいらせ7月号、町ホームページに掲載します。

- 問い合わせ 〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135の2 おいらせ町役場 総務課人事係 ☎0178 56 2166 ファクス0178 56 4364

相談日

各種相談窓口を開設
まずは悩みを相談して

● 町民相談
日時 5月11日(水) 10時
場所 東公民館

● 行政相談
日時 5月25日(水) 10時
場所 中央公民館



相談員 ● 小向恵子
☎ 0178 56 4701




相談員 ● 徳永幸雄
☎ 0178 56 3850

法テラス青森でも相談を
無料で受け付けています
☎ 050-3383-5552

ウォーキング講座を 開催します

運動のプロと一緒に、
正しく効果的なウォーキングを学びましょう。
4ヶ月程度歩いた後、ウォーキング個別相談会も開きます。希望者は事前に申し込んでください。雨天時は屋内で行うため、内履きを持参してください。



● 環境保健課
☎ 0178 56 4218

- 集合時間 13時半(講座は15時まで、相談会は15時半まで)
 - 講師 健康運動指導士 加藤智子さん(千和田市)
 - 持ち物 タオル、飲み物
 - 参加料 無料
- 6月9日(水) / いちよう公園周辺 / いちよう公園体育館
- 6月30日(水) / カワヨグリン牧場周辺 / 向山駅西口(ふれあい広場公園側)

保健福祉

介護保険事業計画策定
調査票記入に協力を

● 町は今年度中に介護保険事業計画を策定します。地域の課題やニーズなどを把握するため、実態調査を行います。

5月中旬以降、▼65歳以上の高齢者▼要介護・要支援認定者——のうち、約1,200人を抽出し、民生委員・児童委員が調査票を配布、回収します。

調査票は記名式です。回答内容は本事業に反映させたり、介護予防教室などへの参加を勧めたりするためには配布された調査票などを確認してください。

任意予防接種の費用を
助成します

● 小児用肺炎球菌ワクチン
● ヒブワクチン

● 任意予防接種の費用を助成します

● 小児用肺炎球菌ワクチン
● ヒブワクチン



場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎ 0178 56-2008	6(金)、13(金)、20(金)、27(金) 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
	10(水) 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(北部児童センター)
	11(木) 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(南部児童センター)
	12(金) 10:00~12:00	体験保育(2歳クラス)
	17(火) 10:00~12:00	体験保育(1歳クラス)
	18(水) 10:00~11:00	エアロビクス教室
	19(木) 10:00~12:00	体験保育(0歳クラス)
	24(火) 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ(フラワーフレーム)
	25(水) 10:00~11:30	よちよちひろば(手作りおもちゃ)
	26(木) 10:00~11:30	親子クラブ(かざぐるま帽子)
31(火) 10:00~11:30	スクラップブッククラブ(ちよき・べた)	
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178 56-4051	6(金) 10:00~11:30	ハートクラブ(木ノ下児童館)
	12(木) 10:00~11:30	給食体験
	19(水) 10:00~11:30	クロネコヤマト交通安全
	24(火) 10:30~11:30	ひまわりの会(北部児童センター)
	27(金) 10:00~11:30	ピヨピヨサークル
菜の花保育園 ☎ 0176 53-8670	13(金)、27(金) 10:30~11:00	歌・手遊び、読み聞かせ(木ノ下児童館)
	14(土)、28(土) 10:00~11:30	保育体験
	14(土) 14:00~15:30	わくわくサークル(クッキー作り)
	17(火)、31(火) 10:30~11:00	歌・手遊び、読み聞かせ(北部児童センター)
	10(火) 10:00~12:00	おしゃべりサロン、給食体験
あゆみ保育園 ☎ 0178 52-2206	12(木)、26(木) 10:00~12:00	はんど&はあと
	13(金) 10:00~11:00	おはなし出てこい!
	17(火) 10:00~11:30	おもちゃで遊ぼう
	18(水) 10:00~12:00	ヨガ
	19(木) 10:00~12:00	おいらせクロパ(スクラップブック)
	27(金) 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム(赤ちゃんのお風呂)
	31(火) 10:00~12:00	お料理教室

5月12日(水)は
民生委員・児童委員の日

広げよう 地域に根ざした 思いやり

- 活動強化週間 5月12日~18日
- 一斉取り組み日 5月15日(日)

民生委員、児童委員の活動を紹介するカードを配布しながら、地域住民の立場に立った活動への理解を進めていきます。

- 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します
 - 地域社会での孤立、孤独をなくする運動を提案し、行動します
 - 児童虐待や犯罪被害などから、子どもを守る取り組みを進めます
 - 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつながり役を務めます
 - 日ごろの活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います
- 「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言(原文のまま掲載)

● 問い合わせ 介護福祉課 ☎ 0178 56 4705

* 詳しい内容は各センターで発行している通信チラシをご覧ください。

に掛かる費用を全額助成します。これは任意の予防接種で、接種するかどうかを各自が判断して行うものです。内容を理解し、医師と相談し接種してください。

● 助成期間 5月1日~24年3月31日

● 子宮頸がん予防ワクチン
● 小児用肺炎球菌ワクチン

● 接種回数 3回(初回、初回から1ヵ月後と6ヵ月後)

● 小児用肺炎球菌ワクチン
● 対象 接種時、本町に住所がある生後2ヵ月~5歳未満の子ども

● 接種回数 3回(初回、初回から1ヵ月後と6ヵ月後)

● 小児用肺炎球菌ワクチン
● 対象 接種時、本町に住所がある生後2ヵ月~5歳未満の子ども

● 接種回数
① 生後2~7ヵ月未満での接種開始/初回3回追加1回

● 接種方法 町内委託医療機関で、保護者同伴で個別接種してください。事前予約が必要です。予約票は次の医療機関のほか、本庁舎、分庁舎や北部出張所で入手できます。

- ① おいらせ病院
- ② 石田温泉病院
- ③ 下田診療所
- ④ こんの医院
- ⑤ ケイクリニック

* 町外の掛かりつけ医で接種を希望する人は、必ず環境保健課へ連絡してください。事前連絡せずに接種した場合、助成を受けられない場合があります。注意してください。

* 現在、ワクチン供給量不足の情報があります。医療機関に問い合わせて接種を進めてください。

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までにし出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鵜久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団 地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/ 川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	5月27日(金)	5月24日(火)	5月23日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 5月4日(水) プラスチック 5月18日(水)	紙 5月11日(水) びん 5月25日(水)	
粗大ごみ	5月13日(金)・27日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します 環境保健課 Tel. 0178-56-4218

"Furusato" Support

ふるさと応援寄付金で郷土を応援してください

22年度は21人から、総額130万5,000円を寄付していただきました。



▲「河北文化賞」を受賞した中戸俊洋さん(中央町、写真右)は賞金の一部(50万円)を寄付

- 成田成東さん(東京都)
 - 湯沢勝信さん(東京都)
 - 飯沼恵子さん(神奈川県)
 - 飯沼克博さん(おいらせ町)
 - 澤頭實さん(おいらせ町)
 - 竹島つよさん(六戸町)
 - 久保田良一さん(おいらせ町)
 - 北向きみ子さん(おいらせ町)
- 他12人

寄付金は▶人材育成▶コミュニティ活動▶おいらせブランドの普及推進——などに役立っています。

寄付金は「ふるさと納税制度」により、これまでより拡充された寄付金控除を受けられます。寄付を希望する人は町企画課か町ホームページで申込書を入力し、▶郵送▶ファクス▶電子メール—のいずれかで申し込んでください。

企画課 ☎0178 56 4701
 ファクス ☎0178 56 4364
 furusato@town.oirase.aomori.jp

募集します

発掘調査作業員を募集します

町生涯学習課 ☎0178 56 4276



応募資格 4月1日現在で満60歳以下、健康で調査場所まで出勤できる町民
調査予定地 中野平遺跡(中平下長根山)ほか
募集予定人数 13人
募集期間 5月2日①～5月18日④

申込方法

生涯学習課へ付けの申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。

選考方法 応募者多数のときは、公開抽選会を開き決定します。抽選会は5月20日⑤、10時から東公民館で開きます。

雇用者説明会
 日時 5月31日④ 13時半

調査予定期間 6月7日④～10月7日

賃金 月額6,000円
勤務 調査期間中の火曜日から金曜日に出勤してもらいます。1カ月の勤務日数は14日、勤務時間は8時15分から17時までです。

場所 東公民館
説明会(6月中予定)に出席できる人
 ③ 23年1月以降に掛かった医療費の領収証を全て保管してある人

国保医療費モニターを募集します

町環境保健課 ☎0178 56 4218

医療費の適正な支出を目的に「町国民健康保険医療費モニター」を募集します。医療費や医療費領収証の見方などに興味のある人は、気軽に申し込んでください。

募集人数 10人以内
募集期間 5月2日①～5月31日④
応募条件
 ① 町国保加入者で20歳以上の人
 ② 役場分庁舎で開催する

主な内容

① 所定の用紙を使い、医療費領収証の金額などを月ごとに集計、記入する

② 受診後3～4ヵ月後に届く医療費通知の金額などを記入し、年5回程度、領収証と共に町へ提出する

③ 経費など 交通費などは支給しません。謝礼として粗品を差し上げます。

講習会、相談は無料

町生涯学習課 ☎0178 56 4701



講習会、相談は無料
 ITサポートセンター
 町は青森県IT活用サポート事業を活用し、パソコンやインターネット操作法などの相談に応じます。6月から毎週、講習会を開きます。詳しい内容は決まり次第お知らせします。

場所 役場分庁舎4階
期間 4月26日～平成24年3月20日

イベント

美しい花々を展示 春の山野草展を開催

町生涯学習課 ☎0178 56 4276

入場無料です。気軽に足を運んでください。

日時 5月14日④～15日⑤ 9時～17時(15日は16時まで)

*花の咲き具合で日程は変わることがあります。

場所 農村環境改善センター、東公民館の2会場
主催 下田盆栽山草愛好会、百石盆栽愛好会

主な内容

① パソコン、携帯電話の基本的な操作、設定方法

② ソフトの使い方

③ 不具合解消など

日時 9月4日④ 10時
場所 みなくる館

応募方法 はがきに▼主題「花」▼B「自由詠」
 一首▼当日の出欠▼住所▼氏名▼連絡先——を書いて申し込んでください。

申込締切 6月30日④
申込先 ハートピアおいらせ県下短歌大会実行委員長 日野口和子(鶴久保山17の86) ☎0176 57 3860

日本一安い葬儀社 有限会社 北浜葬儀センター

- 霊柩車・病院からの遺体運搬・運賃含め、総費用30万円
- 車代を含まなければ20万円から

お客様のご予算に合わせて葬儀料を決定。気軽にご相談ください。
 おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎0178-53-2614

5月の納税相談日

税金に関する相談はもちろん、税金を納めることもできます。気軽に問い合わせてください。

	月日	会場
夜間納税相談 [17:00-20:00]	6日⑤	本庁舎(税務課)
	17日④	
	10日④	
*休日納税相談 [8:30-17:00]	24日④	分庁舎(分庁サービス課)
	1日⑤	本庁舎(税務課)

5月31日は▶軽自動車税(前期)▶固定資産税1期一の納期限です。忘れずに納めましょう。

口座振替にすると手間が掛らず、納め忘れもありません

東日本大震災で被災した皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

被災で保険料を納付できない場合、**災害特例免除**があります

対象は
今回の震災で住宅、家財、車などの財産のうち、おおむね2分の1以上の損害を受けた人です。

手続きは
申請が必要です。「罹災証明書」または「被災状況届」を使います。今年7月末までに手続きしてください。

口座からの支払いをやめるには**口座振替の停止**が必要です。

手続きは
届出が必要です。口座振替の「通帳」「届出印」を準備してください。詳しい内容は気軽に問い合わせください。

監修/Shinya.N 絵/Ryo.O



＊**こんにちは赤ちゃん**

＊毛利櫻太郎(修司・佳奈子) 洋光台 13人
 ＊原智美(誠・友紀子) 肴町
 ＊穴澤瑞基(雅之・枝里) 青葉
 ＊吹原隼人(覚・みづえ) 木崎
 ＊オイエス・リュウステイブン
 (フライングリチャード・ちひろ)
 木ノ下

戸籍の窓

3月に届け出し、掲載を希望した人を載せています

＊小笠原琉月(佑一・和香子) 七軒町
 ＊佐藤虹音(敬幸・恵美) 藤ヶ森
 ＊坂井田沙笑(章夫・沙織) 木崎
 ＊百目鬼瑛斗(力哉・恵) 鷗久保
 ＊田中眺汰(雅也・真澄美) 本村
 ＊吉田優杏(尚史・智美) 藤ヶ森
 ＊北向琉希也(正和・沙織) 鍋久保
 ＊中村乃彩(竜太・咲子) 三本木

♡**結婚おめでとう**

張田秀人 一川目 6組
 鶴田智美 八戸市
 川口和幸 藤ヶ森
 南園あや子 鹿兒島市
 坂本勝美 一川目
 高村美佐子 三沢市

◎**お悔やみ申し上げます**

名久井その 89歳 鷗久保
 岡田久 63歳 二川目
 千葉翔太郎 18歳 洋光台
 赤沼健吾 77歳 若葉
 関川勇美 81歳 一川目
 兵庫キク 81歳 三田
 小笠原たま 91歳 青葉
 川村あき 97歳 日ヶ久保
 苦米地秀雄 84歳 木崎
 大野澄子 63歳 一川目
 北向清一 77歳 秋目
 坂井田トヨ 100歳 三本木
 三浦金四郎 94歳 一川目
 袴田文雄 73歳 三川
 柏崎トシ 85歳 三本木

田中正規 二川目
 花松希 十和田市
 岩崎純司 二川目
 吉田優子 十和田市
 林裕希 洋光台
 小原知世 八戸市

編集後記

▼東日本大震災の発生から1カ月以上が過ぎました。東北地方の太平洋沿岸にある自治体は、大きな被害を受けました。内陸、日本海側、西日本の自治体が、県を越えて復興支援活動に当たっています▼テレビでも頻りに聞く「計画停電」は、電力消費が大きくなる夏場、さらに続けられる可能性があります。日本の電力の多くは火力、原子力などに頼っています。普及段階にある太陽光は、まだまだ広がる可能性があるかもしれません▼震災後は電気やガソリンなどが供給されない期間がありました。さらに新しいエネルギーを生み出す原動力につながってほしいものです。「エゴからエゴへ」――まずは自分でできることは何かを考え、挑戦してみようと思います。

企画課 広報担当
 松林 拓大

♡ **おいらせ健康カレンダー** ♡

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 回				
2 月				
3 火				
4 水				
5 木				
6 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
7 土				
8 日				
9 月				
10 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象*平成21年10月生まれの子ども
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
11 水	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け/10:00-10:30 受け付け/13:00-13:30	いきいき館	
12 木	転倒予防教室 転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00 10:00-11:30	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
13 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
14 土				
15 日				
16 月	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	対象*口の健康に関心がある65歳以上の人
17 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定
18 水	健口栄養講座	9:30-13:00	北公民館	対象*口の健康に関心がある65歳以上の人
19 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
20 金	リハビリ健康相談 ポリオ予防接種	9:30-11:00 13:30-14:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談 担当医*おいらせ病院
21 土				
22 日				
23 月				
24 火	リハビリ健康相談 2歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象*平成20年10~11月生まれの子ども
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
25 水	9~10カ月児健康相談 転倒予防自主トレーニング	受け付け/10:00-10:30 9:30-12:00	いきいき館	
26 木	愛の献血 転倒予防教室 愛の献血	10:00-12:00 10:30-12:00 13:45-16:00	のびのび館 分庁舎 老人福祉センター サンワドー下田店	理学療法士の運動指導
27 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象*平成19年11月生まれの子ども
28 土				
29 日	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
30 月				
31 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定

**卒業・入学
記念撮影承ります**

★卒業用袴の貸衣装あります★

入学式当日はご予約なしでも
撮影できます

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

労働大臣検定一級写真技能士の店
有限会社アトリエゆう

※有料広告掲載欄です



佐々木英恵さん

(青葉)

子どもたちの笑顔に出会えたとき、「リーダーは楽しい」と心から思える

Profile

ささき・はなえ★ 1994 (平成6)年八戸市生まれ。三沢市で暮らした後、3歳の頃、下田町 (=当時) 青葉へ引っ越した。小学校2年生の頃、青葉子ども会に加入し、子ども会活動を始める。現在、町子ども会育成連合会「SJLC」の上級リーダーとして活躍する。百石高校普通科の2年生、ボウリング部に所属。祖母、母、妹と4人暮らし。おいらせ町青葉在住、16歳

町子ども会育成連合会 (苦米地晃仁会長) の「SJLC (スマイル・ジュニア・リーダーズ・クラブ)」で上級リーダーを務める佐々木英恵さん (16) 青葉 Ⅱ。古間木山地区の子ども会が実施した資源回収で、小学生の子どもたちと一緒に汗を流す。作業場所の古間木山集会所には、自家用車や業者のトラックなどが出入りする。小学生たちがはしやぎまわるたびに「気をつけなさい」と声を掛ける。子どもたちがががをしなないように、目を配っているのだ。「子どもたちと一緒にいると楽しいですね。笑顔に出会えたときは、本当にリーダーって楽しいなと思えます」と笑顔を見せる。

中学生の頃比べ、高校生になると部活や勉強などで忙しくなった。しかし子ども会活動には必ず顔を出している佐々木さん。「子どもたちが笑顔を絶やさず、すくすく育てられる地域づくりに関わりたい」と力強く夢を語った。



がんばろう
おいらせ。
がんばろう
ニッポン。

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

おいらせ

No.75 2011年5月1日発行号